

方南町駅のバリアフリー化が進みます

地下鉄丸ノ内線方南町駅のバリアフリー化を求め2006年に署名を集め東京メトロへ要望してきた結果、2010年に用地の取得が進展。2013年7月の都市計画審議会において横山えみは、駅の階段で荷物運びを手伝うボランティア「ベビーカー下ろすんじゃー」の存在に触れ、東京メトロは直ちに対応を図るべきと訴えた結果、2013年11月末より、エレベーターとエスカレーターの工事が始まりまし。また、2017年からは、池袋からの直通運転を始めるため6両編成が止まれるよう駅の延伸工事も始まります。



東京メトロと工事関係者による住民説明会開催
／2013年10月



西口改札階段に車イス用のリフトが設定されました。
／2013年12月



「ベビーカー下ろすんじゃー」と方南町駅にて／2013年8月

旧環七通りが、カラー舗装に

旧環七、区道の中で最も長いこの通りは、駐車する車が多く、高齢者や子ども連れの母親から安心して歩けないと言われるほど、見通しが悪い通りでした。商店会長、関係3町会の会長より、カラー舗装の要望を受け、初めての要望提出から10年の歳月を経て、2014年3月完成をめぐり工事が始まりました。これからも結果が出るまで訴え続けて参ります。



雨宮商店会長により商店会員にカラー舗装の説明／2013年5月

平面図

特別養護老人ホーム開所式



「恵みの家(和田1丁目)」開所／2013年5月

区内の特養待機者は1000名(Aランク)とされています。特別養護老人ホームの建設は喫緊の課題です。●26年4月和泉4丁目(特養60名・ショート6名)●26年4月マイルドハート(増床51床)●26年5月和田1丁目特養(50名ショート10名)開設予定



建設中の「和泉サナホーム(和泉4丁目)」
／2013年12月

<http://yoko-emi.jp/>

横山 えみ

検索



日頃より、皆様のご支援に深く、深く感謝申し上げます。大変にありがとうございます。2013年は総務財政委員会の副委員長として区民ニーズを的確に捉え、責任ある区政運営のチェックをしてまいりました。また、「子ども子育て関連3法」に基づく子育て支援の実施にあたり、保育環境の充実に努めて参りました。秋には、区立施設再編整備計画が示されました。20年後には区立施設の52%が、築50年を迎えます。人口推移は3人に一人が65歳を迎え、税収入も減少していきます。それらを見据え、区議会公明党は、現場の声を、26年度に対する会派要望253項目にまとめ、施設再編整備[素案]に対する要望も田中区長に提出いたしました。新年度もいちばん近くで動く働く庶民の代弁者として頑張る参ります。



第二回定例会一般質問／2013年6月

施設再編整備で杉並が変わる!

少子高齢化に対応しさらに充実!!

Q1 保育コーディネーターを近くで利用できるようになりますか?

A1 はい、出来るようになります。児童館の一部が、子どもセンターとなり、保育総合相談所が設置されます。現在本庁舎のみで行われている認可保育所、都の認証保育所、保育ママの利用について情報を紹介していますが、各地域の子どもセンターで利用できます。



保育コーディネーター視察、待機児童対策として保育コーディネーターの配置を強力に推進した横山えみ／2013年7月開設

Q2 高齢者のための「ゆうゆう館」は、どうなりますか?

A2 一部地域コミュニティ施設として生まれ変わりますが、今までの機能と役割を継承、発展させていきます。



25年後には2・5人に1人が65歳以上となります。そのような時代に、高齢者用施設、子ども用の施設等、利用者により区別せず、区民共通の施設として、地域コミュニティとして活用していくことが求められます。施設再編は知恵を絞り、次世代にどのような杉並をバトンタッチしていくかを考えていくことが重要です。

横山えみ 区民相談ホットライン 090-2758-8746

☎ 3312-2111 Fax 3312-2710 総務財政委員会副委員長・道路交通対策委員

